

本当の税・導入してみたい税

岡山市立竜操中学校 3年 富吉 亜弥

みなさんは税と聞いてどんな印象を持つでしょうか。私はあまり良い印象を持っていませんでした。なぜなら、ニュースや新聞などで税に対する明るい報道を見たことがないからです。そこで、実際に調べてみると予想以上に自分が何もわかっていなかったことがわかりました。警察や学校、救急車などに使われているだけじゃなく、社会の問題を解決するために税が作られることを知って驚きました。

例えば、アメリカは肥満の人が増加したため、炭酸税を法定しました。税額は二十八グラム当たり約十三円が課税されました。炭酸飲料の売り上げは下がったらしく大きな効果がありました。ただ、炭酸会社は大変だっただろうと少しかわいそうに思いました。

税がもし制定できるのであれば、電子機器の廃棄税を導入します。日本は、携帯電話や家電など電子機器の廃棄量を大陸ごとに比較すると、アジア大陸がだんとうつに多く約二千四百九十万トンもありました。電子機器にはレアメタルが含まれている場合があります、「都市鉱山」とも呼ばれるほど活用のポテンシャルを持っていますが、一方で鉛や水銀といった有害物質を含むものもあり、健康被害や環境悪化の懸念があるため、電子機器の廃棄税を制定することで、少しずつ解決していくのではないかと考えます。また、室内税も導入します。コロナ禍で運動不足問題があり、コロナ禍でテレワークという働き方が増え、外へ外出する人が減ったと思います。運動不足がもたらす悪影響は多くあり、解決するために室内税を導入したいです。家事税も導入したいです。夫婦共働き世帯の一日あたりの家事関連時間が妻は七時間二十三分だったのに対し、夫は一時間五十四分という大きな時間の差があります。これは、家事は妻がすると思っ込んでいる男性が多いからです。そこで、家事税を導入することで、夫がサボっていたら税が増えるため、積極的に家事に参加すると思います。

このようなことから、私たちが日常で払っている税金は、社会の問題を解決するために税が作られています。解決するために、国民から「こんな税は？」というアイデアを募集することで、自分たちでは考えられない多くのアイデアが集まると思います。私は、税にもっと多くのことを知り、これからの人生や生活に生かしていきたいです。